

2007年5月25日

関学生の皆さんへ（麻疹情報第2報）

**麻疹（はしか）の感染が関西の大学にも広がっています。教務上の取り扱いについて以下のとおり、5月18日付の対応から変更点がありますのでお知らせいたします。**

- (1) 風邪症状があり、37.5度以上の発熱がある場合には、麻疹の可能性も否定できません。登校せず、医療機関で受診してください。(1)。なお、麻疹の初期は風邪と似ており、この時期より感染力があるため、解熱するまで人との接触を避け、できるだけ自宅安静としてください。授業を休んだ場合には、学部・研究科の事務室から、担当教員にその旨連絡し、授業を休んだ場合でも欠席として扱わない等(2)の配慮をします。ただし、学部・研究科事務室への連絡、後日、医療機関の領収書もしくはレシートのコピーを学部・研究科事務室へ提出することが必要です。
- (2) また、医療機関において、「麻疹」「麻疹の疑いがある」とされた場合には、本学保健館および学部・研究科事務室に電話で連絡して、解熱後3日間を経過するまでは、登校しないでください。この場合も(1)と同様の教務上の対応を行います。後日、医療機関の領収書もしくはレシートのコピーを学部・研究科事務室へ提出することが必要です。

保健館連絡先（西宮上ヶ原：0798-54-6023、神戸三田：079-565-9045）

- (3) クラブ・サークル活動についても(1)(2)と同様に活動をひかえてください。

**(1) 受診時の注意**

ほかの人にうつす可能性がありますので、受診の際は必ず事前に電話で病院に連絡し、指示を受けてから、公共交通機関をなるべく使用せず、マスクなどを着用してください。

**(2)**

- 欠席扱いにしないこと
- 休んでいる間の授業内のレポートに関すること
- 休んでいる間の小テストに関すること
- 授業への質問や配布したレジュメに関すること

なお、この措置は6月30日までの措置とします。今後、状況が変われば、また連絡しますのでホームページ上の麻疹情報に注意してください。

以上

2007年5月25日  
関西学院大学

## <ご参考>

### 【一般的な症状】

- 1) 感染後10～12日後(潜伏期間)して、発熱、咳、鼻水、結膜炎などが出現する。(カタル期)
- 2) 発熱してから2～4日ごろ、一度熱が下がる。
- 3) 約半日～1日後に再び高熱が出て発疹が出現。咳、鼻水、結膜炎などが増悪(発疹期)
- 4) 2度目の熱は4～5日ほどで下がり、発疹の色もあせてくる。(回復期)  
肺炎、脳炎、中耳炎などを合併する場合があります。

### 【予防】

- 1) 手洗い、うがいを行い、睡眠・栄養をしっかりとって免疫を高めておきましょう。
- 2) 予防にはワクチン接種が有効です。麻疹にかかったことがなく、過去に予防接種を受けていない場合には医療機関に相談の上、早期のワクチン接種をお勧めします。